

笛吹市公共下水道事業

下水道管路清掃点検業務委託（御坂）

特 記 仕 様 書

笛吹市公営企業部下水道課

特記仕様書

第1条 適用

1. この特記仕様書は、笛吹市公共下水道事業、『下水道管路清掃点検業務委託（御坂）』に適用する。
2. 特記仕様書に記載無き事項、及び本業務にあたり疑義が生じた際には、受託者は、監督員と協議するものとする。

第2条 履行期限

履行期間は契約書に基づくものとする。

第3条 作業時期及び作業時間の変更

本業務の作業時間帯は、下記によるものとする。

【作業開始8時30分～作業終了17時00分】

なお、休日等は、日曜日・祝日・年末年始休暇と夏期休暇の他、工事期間内の全ての土曜日を含む。ただし、やむを得ず休日に作業を行う必要がある場合は、監督員に届け出るものとする。

また、事前協議により道路管理者の行う他の工事と工期が重複する場合は、道路管理者の発注する工事を優先する為、着工時期の調整を行うこと。なお、道路管理者等との調整の結果、作業時間帯に変更が生じた場合は、速やかに監督員と協議するものとする。地盤等の条件により施工ができない場合についても、別途協議するものとする。

第4条 道路の占用

本業務の施工に際しては、道路の片面または全面を占用して作業を実施するため、作業期間中交通規制を行うものとなる。なお、交通規制にあたっては、事前に所轄警察署等関係機関と十分な協議を行い、迂回路及び案内標示等について承諾を得なければならない。

第5条 交通及び保安設備

作業区域内の交通に関しては、道路の使用許可条件を遵守し、十分な危険防止対策を施すこと。

また、作業区域内での歩行者の通行に際しては、必要に応じて専任の交通整理員を設置し、通行の誘導等、交通及び保安上十分な措置を講じること。

第6条 交通整理

本工事の施工に際しては、道路工事交通保安施設設置基準により交通誘導警備員及び保安施設を設置するものとする。また、交通誘導警備員による交通整理は、次のとおり実施するものとする。

勤務体系	期間	配置条件
昼間勤務	9日間	3名（交替要員含む）／日
昼間勤務	1日間	4名（交替要員含む）／日

請負者は、必要に応じ所轄警察署と協議し一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工するものとする。ただし、現地の状況及び施工条件に変更が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

第7条 費用の負担

業務の検査等に伴う必要な費用は、本仕様書に明記のないものであっても、原則として受託者の負担とする。

第8条 法令等の遵守

受託者は、業務の実施に当り関連する法令等を遵守しなければならない。

第9条 秘密の保持

受託者は、業務の処理上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

第10条 公益確保の責務

受託者は、業務を行うに当っては公共の安全、環境の保全、その他の公益を害することの無いように努めなければならない。

第11条 提出書類

受託者は、業務の着手及び完了に当って、笛吹市の契約約款に定めるもののほか下記の書類を提出しなければならない。

(イ)着手届 (ロ)工程表 (ハ)管理技術者届 (ニ)職務分担表
(ホ)完了届 (ヘ)成果品引渡し届 (ト)業務委託料請求書等

なお、承認された事項を変更しようとするときは、そのつど承認を受けるものとする。

第12条 管理技術者及び技術者

(1) 受託者は、管理技術者及び技術者をもって、秩序正しく業務を行わせるとともに、高度な技術を要する部門については、相当の経験を有する技術者を配置しなければならない。

(2) 受託者は、業務の進捗を図るため、契約に基づく必要な技術者を配置しなければな

らない。

第 13 条 工程管理

受託者は工程に変更を生じた場合、速やかに変更工程表を提出し協議しなければならない。

第 14 条 成果品の審査

- (1) 受託者は、業務完了に監督員による成果品審査を受けなければならない。
- (2) 成果品の審査において、訂正を指示された箇所はただちに訂正しなければならない。
- (3) 業務完了後において、明らかに受託者の責に伴う業務のかしが発見された場合は 受託者は ただちに当該業務の修正を行わなければならない。

第 15 条 引渡し

成果品の審査に合格後、業務の完了とする。

第 16 条 建設廃棄物の適正処理

本業務の作業により発生する土砂は、廃棄物処理法に基づき当該産業廃棄物の処分業の許可を得ている施設で適正に処分すること。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 14 条第 1 項の許可(山梨県、産業廃棄物を処理する県)を得ていること。

第 17 条 打合簿

本業務に関する提出物及び指示・通知・提出・届出・協議・承諾・報告等は全て打合簿に添付し、その都度 2 部作成し提出すること。

第 18 条 その他

本設計書に添付されている数量計算書は、参考資料であり軽微な変更は、委託者及び受託者双方の承諾のうえ打合簿により処理し設計変更は行わないこととする。